

受領No.1468

科学技術の発展・普及に伴う人々の心理的变化の検討

代表研究者 小塩 真司 早稲田大学 文学学術院 教授

Cross-temporal change of personality traits with the progress of science and technology in Japan

Representative Atsushi Oshio, Faculty of Letters, Arts and Sciences, Waseda University, Professor



研究概要

科学技術の発展とそれに伴う生活の変化は、私たちの心のありように何らかの影響を与えていると考えられる。家庭の中に電話、テレビ、冷蔵庫や洗濯機のような家電品が普及していった時代、そしてコンピュータや携帯電話、インターネットやスマートフォンが普及していった時代を考慮すると、生活の中で当然のように存在する各種技術が、私たちの人間関係や心の状態を大きく変えてきた可能性がある。しかし、その様相を捉えることは容易ではない。本研究では時代変化を検討可能なメタ分析の一手法である、時間横断的メタ分析と呼ばれる手法を用いてこの問題を検討する。科学技術の発展に伴って、私たちの心理的な特徴であるパーソナリティ特性はどのような変化を示すのだろうか。パーソナリティ特性はYG性格検査の得点に着目する。YG性格検査は1950年代に日本で独自に開発され、50年以上にわたって頻繁に用いられてきた性格検査である。この検査の平均値を用いることにより、過去50年以上のパーソナリティ特性の変容と、その変容が科学技術の進展にどのように対応してきたのかを明らかにすることができると期待される。